

【1 学年部】

《基本方針》

生徒一人一人が、高校生活へ適応し、自己理解を深め、自らの進路を切り開いていけるよう支援する。

《努力目標》

- 1 家庭との連携を密にし、生徒が基本的な生活習慣を確立できるようにする。
- 2 学校の規律を守り、集団生活におけるマナーを身につけさせる。
- 3 家庭学習の習慣を身につけさせ、基礎学力の定着を図る。
- 4 豊かな人間関係作りができるよう、ホームルーム活動や学年間の交流を密にし、思いやり、仲間意識を育てる。
- 5 自ら考え行動できる主体性を身につけさせる。

《学年スローガン》

自主自律・友愛協同をもとに、「北山高校生になる」

【2 学年部】

《基本方針》

生徒一人ひとりが、中堅学年としての目標を明確に持ち、自己実現が達成されるよう支援する。

《努力目標》

- 1 規律を守り、集団生活におけるマナーを身につけさせる。
- 2 基本的な生活習慣の確立
- 3 ホームルーム活動や学年の交流を通して仲間意識を育て、リーダーを育成する。
- 4 自ら考え行動できる主体性を身につけさせる。
- 5 家庭学習の習慣を身につけさせ、学力の向上を図る。

【3 学年部】

《基本方針》

生徒一人ひとりが最高学年としての自覚をもち、互いの個性を認め合いながら望ましい人間関係を築き、豊かで充実した高校生活を送れるよう支援する。

《努力目標》

- 1 自己を律し、基本的な生活習慣と社会人としてのマナーを身に付けさせる。
- 2 学力の向上を図り、生徒一人ひとりにあった進路指導を行い、保護者との連携を密にしながら進路実現に向け支援する。
- 3 本校の伝統を継承しながら、学校行事等において1・2年生をリードするリーダーの育成に努める。
- 4 ホームルーム活動や学年の交流を通して、互いを認め合いながら、思いやり、他者を尊重する心を身につけ、豊かな人間関係作りができるようサポートしていく。

【教務部】

《努力目標》

本校の努力目標及び基本方針に沿った教育活動が円滑に行われるよう、全職員の共通理解と協力体制の確立を目指す。そして全体が有機的に機能して教育目標が達成されるよう、各部、各学年、各教科との連絡調整を密に図り、ゆとりある学校運営を推進する。

- 1 学習指導の充実
 - (1)各教科が年間授業計画に沿った授業を実施できるよう、授業時数の確保に努める。
 - (2)生徒一人ひとりの進路実現を保証する教育課程の編成に取り組む。
 - (3)学力向上を推進させ、その研究に取り組む。
- 2 生徒情報の管理と進路相談支援システムの活用
 - (1)学級担任と教科担当との協力体制を築き、成績・勤怠情報処理の正確化・迅速化に努め、また管理と保全に努める。
 - (2)公簿に係る事務の期日内処理の徹底と公簿並びに諸情報の保護管理の徹底に努める。
- 3 学校行事の精選と円滑な運営

学校行事を精選し、その内容を充実させ、効率的な運営に努める。
- 4 職員の研修

円滑な校務運営の実現と研鑽を目指して、次の校内研修を計画、実施する。

○コンピュータの活用に関する研修	○カウンセリング及び教育相談に関する研修
○本校が抱える教育課題に関する研修	○その他の研修
- 5 保護者・地域社会との連携
 - ①保護者・地域社会・同窓会・中学校との連携を密にして、協力体制の確立に努める。
 - ②P T A活動の充実と活性化に努める。
- 6 全職員による「総合的な学習の探求」の実践

「総合的な学習の探求」が効果的に行えるよう、全職員で取り組む体制を確立する。
- 7 教務に係る備品・消耗品の整理と管理
 - (1)職朝や職員会議で配布される資料の整理管理と減量化に努める。
 - (2)必要な備品を確保し、また職員室や教務倉庫を効果的に利用し諸資料の保管に努める。
- 8 校務の情報処理
 - (1)コンピュータ機器の充実を図る。
 - (2)校内ネットワーク(LAN)の安定化に努める。
 - (3)「個人情報保護方針」に基づき、情報管理の徹底を図る。
- 9 視聴覚機器の充実と情報教育の推進
 - (1)生徒が主体的に参加する授業を支援するための視聴覚機器の整備と充実努める。
 - (2)視聴覚機器を活用した授業実践等の推進に努める。
- 10 生徒定数不足の解消に努める
 - (1)「学校説明会」の検証や実施・方法などを検討する。
 - (2)中学校との新たな連携のあり方について検討・実施していく。

【生活指導部】

《努力目標》

- 1 ホームルーム担任及び学年会と連携し、生徒が自主的に基本的な生活習慣が確立できるよう積極的に支援する。
(基本的な生活習慣の確立)
- 2 学校生活面、授業面においての規律を確立し、落ち着いた雰囲気作りを推進できるよう、HR担任、保護者、教科担任、各部署と連携し生徒支援に努める。**(学校規律の確立)**
- 3 生徒が自主的な「生活づくりの活動」に取り組めるよう全職員・保護者・地域が一体となって連携を図る。
(P T Aの連携)

- 4 生徒の実態を踏まえた講演会や生活指導行事を充実させ、HR担任、保護者、各教諭、各機関との連携も取りながら、問題行動における予防的措置をとり、生徒の問題行動を未然に防げる様努力する。

(問題行動への予防的措置)

- 5 生徒会執行部を中心とした生徒会の各種委員会を活性化させ、生徒の自治活動を推進しホームルーム担任、学年会、生活指導部および全職員で積極的に指導・支援する。**(生徒の自治活動の推進)**
- 6 命の尊さについて理解させ、安全教育及び交通安全教育の推進を図る。**(安全教育の充実)**
- 7 生徒一人ひとり個性の伸長を図るとともに、集団としての自覚を深め、社会的資質と能力、態度の育成を図る。**(個性の尊重及び集団の一員としての自覚)**
- 8 生活指導及び教育相談に関する教職員の資質向上の校内研修及び情報交換等の充実を図る。**(研修及び情報の共有化)**

《学寮》

規律ある共同生活を通じて、社会性、協調性等を養い融和的雰囲気の中かで、学力及び教養を高め、人格陶冶の場とすることを目的とする。

- 1 集団生活を通して、社会自立を果たし得る確かな力を育てる。
- 2 個々の実態に応じた支援に努め、社会生活に適応できる生徒を育成する。

《生徒会・部活動》

- 1 北山祭（後夜祭）や卒業式2部に代表される生徒会諸行事における自主的、創造的な活動を支援する。
- 2 生徒個々のリーダー性の向上や北山高校生徒会として誇りをもたせる支援の工夫を行う。
- 3 自らの生活の課題について自分たちで改善して いこうという取り組みの支援・活性化を図る。
- 4 活動全体を通して、人間として心身ともに調和の取れた知・徳・体の育成を目指すと共に、学校生活の活性化に寄与する。

《環境美化》

- 1 全生徒・全職員で日常の清掃活動に取り組み、快適な学習環境の保全に努める。
- 2 美化委員会を中心としたHR・学校における美化活動の体制づくりに努め、生徒主体の美化活動ができるように指導・支援する。
- 3 環境美化、維持・管理に必要な用具や備品を充実させる。
- 4 ゴミ分別の徹底（燃えるゴミ・燃えないゴミ・資源ゴミ等）を行う。

《HR・教育相談》

- 1 不安や悩みなどを抱えている生徒の問題を早期につかみ、その解消のために担任や養護教諭、スクールカウンセラー、外部機関、保護者と連携を図る。
- 2 長期化するケース、対応が複雑な場合、専門機関への支援を依頼するなどの働きかけをする。
- 3 担任がHR運営を行う上での支援を行う。

《保健》

- 1 生徒の自発的健康管理と意識の高揚及び実践力を図る。
 - (1) 定期健康診断の100%受検を徹底する。
 - (2) 疾病予防並びに治療の促進を行う。
 - (3) 保健指導の年間計画への位置づけと実施を行う。
 - (4) 保健指導用資料・教材の整備（書籍・視聴覚教材等）を行う。
 - (5) 職員の健康の保持増進を支援する。
 - (6) 保健に関する広報活動の活性化（保健だより等）
- 2 病気早退者の事前・事後指導を徹底する。
- 3 担任、教科担任への連絡及び家庭、医療機関との連携を図る。

- 4 生徒保体委員会活動の活性化を図る。
- 5 職員、他関係機関との連携を密にし、学校保健活動の充実に努める。
- 6 HR・教育相談係と協力し、校内相談活動の充実と支援体制の確立に努める。
- 7 学校事故防止と救急体制を確立する。

【進路指導部】

《進路指導の概念》

本校に学ぶ生徒一人ひとりの進路観の形成を助け、それぞれの進路目標を実現できるよう主体的に学習し進路を決定する能力を育てる。

《努力目標》

- 1 ホームルーム担任、学年部、各教科、PTA等と連携し、生徒一人ひとりが自らの進路観を確立できるよう進路の学習と研究の機会を充実させる。
- 2 生徒の進路対策委員会の活動を促し、生徒が自主的に進路対策に取り組める力を育てる。
- 3 進路決定を目標とした生徒の学習意欲を育て、学力を育成できるよう支援する。(課外講座等)
- 4 進路の情報、資料の収集、精選を行い、生徒や教師へ適切な情報、資料を提供する。
- 5 模擬試験の意義を理解させ、受検を奨励する。
- 6 就職に関して、個別指導を充実させ、自らの適性や能力を知り、早期決定ができるようにする。
- 7 進路室を使いやすいように工夫し、資料・設備等の充実に努める。

《学年指導目標》

- 1 年生・・・望ましい職業観・就業観の育成を図り、自ら進んで進路決定をめざす姿勢を育てる。
- 2 年生・・・必要な進路情報や資料を積極的に収集し、自らの進路適性を知ることによって主体的に進路目標を設定できる能力を育てる。
- 3 年生・・・生徒自ら納得のいく進路の選択、決定が行えるよう進路相談を充実させ、進学先、就職先への対応が適切に行えるように指導する。

【事務部】

- 1 歳入の期限内納入を行う。
- 2 予算の効率的執行に努める。
 - (1) 予算の計画的、経済的、効果的な執行や、無駄を省いた消耗品費、光熱水費の節約に努める。
 - (2) 事務処理の合理化及び迅速化に努める。
 - (3) 事務部内の連絡調整を密にする。
 - (4) 教育環境整備及び施設充実に努める。
- 3 旅費の早期執行に努める。
- 4 安心・安全な施設設備の保持に努める。
- 5 不審者侵入、防災避難、緊急(呼吸困難等)時にスムーズな対応ができるよう、教職員との情報共有に努める。

【図書館】

- 1 図書館の充実と利用の活性化に努める。
 - (1) 本校に合わせた豊かな蔵書構築を目指す。
 - (2) 資料を活かした展示の工夫等で、様々な本に興味をもってもらえるようにする。
 - (3) 各教科やホームルーム担任と連携し、図書館利用・読書活動を推進する。
 - (4) 生徒図書委員会の活動を活発にする。
- 2 システム内のデータの訂正と資料の修理・整理を行う。
- 3 村内の小中高や公共図書館と連携した図書館活動を行う。

【国語科】

- 1 国語の基礎力向上を図る。
 - (1) 週末課題の実施及び漢検の奨励。
 - (2) 漢字力・語彙力及び古文単語等の確認テストの実施。
- 2 主体的・対話的・深い学びを実践し、国語力の向上を図る。
 - (1) 自ら情報を収集し、情報をもとに思考し、判断する力を身につける。
 - (2) 自らの考えを的確に表現する力を養う。
- 3 図書館の利用を促進し読書への意欲を高める。
- 4 習熟度別クラスを活かした授業の工夫と充実を図る。
- 5 朝学・早朝講座を通して、基礎学力定着と実力養成に努める。

【地理歴史・公民科】

自立した市民に必要な資質を養うため、社会のシステムや歴史を理論的且つリアルに認識させ、現代社会の形成主体として、国際的視点に立った、人権・平和・環境の問題や異文化理解など、必要な知識や考え方を育てる。また、地域の歴史や文化への関心を高める。

- 1 授業方法の研究（主体的・対話的・深い学びの授業方法の研究・視聴覚教材などの利用）
- 2 教材の精選と進度の確保
- 3 効果的な小論文指導の研究
- 4 視聴覚機器環境の充実と授業実践
- 5 教育課程の研究
- 6 主権者教育の研究と実践

【数学科】

日々の学習活動を通して数学的な見方・考え方を育て数学に対する興味関心を喚起する。また、生徒個々の習熟度や進路に応じた学力の育成を目指す。

- 1 週末課題などを実施し、基礎学力の向上を図る。
- 2 主体的・協同的に学習する態度養うために、創意工夫を行う。
- 3 きめ細かい指導を行うため、習熟度別の展開授業を実施する。
- 4 進路に応じた学力の養成に努める。
- 5 数学検定の受検奨励に努める。

【理科】

- 1 理科に興味を持たせ、理解させる指導法の研究・実践
 - (1) 授業に視聴覚機器・情報機器を利用する
 - (2) 生活に身近な材料を用いた実験の研究
 - (3) 課題研究や実験・実習を多く取り入れた授業の推進
- 2 施設・設備の充実
 - (1) 実験器具の充実
 - (2) 備品及び薬品の整理・保管
 - (3) 理科教育の充実に伴う施設・設備の拡充
- 3 理科校外学習会の内容の充実
 - (1) やんばるの自然や科学技術等に興味を持たせ、理解を深めさせる
- 4 理科教育に関する職員研修の充実
 - (1) 研究会への参加
 - (2) 研究施設等の見学

【保健体育科】

- 1 自らの健康についての関心を高め、体力の向上・健康の保持増進のための実践力を高める
- 2 運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、運動を日常生活の中に計画的・継続的に取り入れ、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現するための支援をする。
 - (1) 教科指導の研究と授業の創意工夫を図る
 - (2) 選択制授業の積極的な導入を図る
 - (3) 体育施設の維持・管理計画の確立を図る
 - (4) 備品の充実・整理・保管を図る
 - (5) 教科行事(新体力テスト・ロードレース大会・ダンス発表会)の企画、充実を図る
 - (6) 生徒の安全教育について充実を図る。
 - (7) 体力向上の推進を図る。
 - (8) 環境教育と保健教育の連携を図る。
 - (9) 北山祭(体育的行事)の成功に向け生徒の指導や意識付けを図る。

【英語科】

- 1 基礎学力の向上
 - (1) 習熟度クラスの授業を充実させる
 - (2) 英語4技能のバランスの良い育成を図る
- 2 積極的、実践的コミュニケーション能力の育成
 - (1) ALTと連携して、プレゼンテーションテスト・ライティングテストの指導方法や評価方法の研究及び実践を行う

- (2) 国際交流及び留学事業等への参加を推進する（新型コロナウイルス感染症の感染状況による）
 - (3) 英語検定対策の指導を充実させる
 - (4) スピーチコンテストやスキットコンテストの参加による効果的な音声指導を行う
 - (5) 姉妹校交流の円滑な運営に向けて、今帰仁村教育委員会との連携を密にする（新型コロナウイルス感染症の感染状況による）
- 3 教育機器の活用
- (1) 教育機器等の効果的な利用法について研究する
 - (2) インターネット等を活用し、情報収集及び処理能力を育成する
- 4 教授法・評価法の研究
- (1) 教材の共有及び、教授法を研究する
 - (2) 習熟度クラスの評価について研究する
 - (3) 言語活動の評価を研究する

【家庭科】

- 1 生徒の実態を踏まえ、主体的な家庭科教育の実践を目指し、授業の工夫・教材研究に努める
- 2 生徒同士が協働し、自立に向けた生活力を体験的総合的に身につけさせよう努める
- 3 施設・設備の充実・保清・安全及び備品の管理・保管に努める

【芸術科】

[音楽]

- 1 基礎・基本の定着を徹底し、積極的に音楽表現ができるように努める
- 2 音楽表現の豊かさや美しさなど、知覚・感受したことを言葉にして表現できる活動を行い、鑑賞能力を向上させる
- 3 生徒に興味や関心を持たせるための授業展開の工夫や教材の研究に努める
- 4 施設、設備の充実・保清・安全及び備品の管理・保管を徹底する

[美術]

- 1 幅広い造形活動体験を通して、個々のひらめき、想像力、発見を大切にそれらを発展、成長させる。多くの美術作品例やそれら背景にある努力、苦悩、魅力を知り、自己の作品に関連づける。そこから、新たな美術の楽しみ、理解、学習意欲の向上に努める。
- 2 施設、設備の充実・保清・安全に務める
- 3 教材研究・教材の精選、材料を知り、ものづくりについて理解する。
- 4 道具を大切にすること、後片づけを身につけさせる。